

句集
夢帽子



環
tamaki junko
順子



夢と生の情景俳句

〈メランジュのやうな生き方春帽子〉とりわけ帽子の好きな人である。沢山の夢をその帽子の中から取り出して詩の言葉にして、見事な俳句を見せてくれる人である。

小澤 克己

き
び
き
び
と
銀
座
の
路
地
を
春
帽
子

人
と
ゐ
て
ひ
と
の
恋
し
き
冬
牡
丹

「遠嶺」入会
あらたまの陽の射す嶺を間近にす

「遠嶺」創刊六周年
遙かなる嶺見てをりぬ絹扇

「遠嶺」創刊七周年

七
年
の
光
を
束
ね
新
樹
立
つ

「遠嶺」創刊八周年

八
朔
の
嶺
に
百
星
応
へ
け
り

嶺
々
は
こ
よ
な
く
晴
れ
て
九
輪
草

「遠嶺」創刊九周年

師
と
友
と
祝
賀
の
一
日
紅
葉
季

「遠嶺」創刊十周年

「遠嶺」創刊十一周年

十
一
や
行
く
手
に
大
き
道
標

水
晶
を
つ
け
て
心
の
窓
涼
し

生まれ日の水辺明るき菖蒲の芽

青春は今もどこかに冬木の芽

さくらさくら指の先まで透きとほる

胸中の一眼レフに花吹雪

父
母
の
ふ
る
里
訪
は
な
螢
籠

繭
玉
や
父
の
残
し
し
一
行
詩

図
ら
ず
も
母
系
を
継
ぎ
ぬ
葛
の
花

勾
玉
に
母
の
詩
あ
り
藍
の
花

父
母
に
孝
の
足
ら
ざ
る
返
り
花

朝
粥
の
終
の
ひ
と
匙
冬
雲
雀

もう一度母呼ぶ木の葉月夜かな

永別はかくも静かに冬満月

み
ほ
と
け
と
語
り
し
夢
や
女
正
月

母
の
こ
ゑ
聴
き
た
き
日
な
り
初
櫻

姿見を抜けて真白き冬帽子

ほとけ見て夢のはじまる冬櫻

夕虹の端より舟の現れにけり

待春の二つ並べて陶人形

いつまでも童ごころを花大根

舟運をしのぶ櫻の絵巻かな

川涼し江戸に二つの芭蕉堂

貝殻を夢の小管に青銀河

恋ひとつ触れて行きけり葡萄棚

いつしかに孤舟となりぬ冬木の芽

高
積
み
の
天
領
米
や
藪
柑
子

風
流
の
只
中
冬
の
最
上
峡

麦の芽のつんつん御禁制解きぬ

火の音のしさうな壺や雪しぐれ

しばらくは笑ひのるつぼ室の花

おもちや箱飛び出し雪の街にをり

いつしかに孤舟となりぬ冬木の芽

海坂を見て極月の忌を修す

句集 夢帽子 ゆめぼうし

平成十八年六月一日 発行

著者 環 順子

発行者 大山基利

発行所 株式会社 文學の森

〒一六九一〇〇七五

東京都新宿区高田馬場二丁目二田島ビル八階

tel 03-5292-9188 fax 03-5292-9199

e-mail mori@bungak.com

ホームページ <http://www.bungak.com>

